

12/2(土)vs 浩沙3回戦(丹頂アリーナ)

5-1(1-0,2-1,2-0) G11 A17.32 G2 A32 G26 A21.7
 G20 A18.7 G33 A10-26

久々の釧路の試合、相手は浩沙。序盤、助っ人外人を中心によく動く相手チームに苦戦を強いられるも、7分過ぎに西脇(#11)が先制点を決めるとそこからはクレインズへ。反則数が両チーム合わせて9しかない中おとすれた5対3のパワープレーを2つとも決めて4-1、さらには終了間際に鬼頭(#33)の今季初ゴールが飛び出し、快勝のゲームであった。



ヒーローインタビューをうける
 No.33 鬼頭選手

12/3(日)vs 浩沙3回戦(丹頂アリーナ)

14-1(3-0,6-1,5-0) G18 A3.20 G19 A10.21 G32 A3
 G32 A2.23 G18 A10 G32 A11.17 G24 A20.23 G18
 A20.3 G11 A26.30 G18 A20.24 G23 A2.32 G11 A26.7
 G26 A20.23 G33 A21.19

この日も序盤は浩沙にペースを握られたクレインズ。開始10分までに危ない場面が何度かあったが、そこを乗り越えるとエースま～しゃ(#18)のゴールを皮切りに次々とゴールラッシュ。プリンス竹内(#32)とエースま～しゃがハットトリックを決め、またまた試合終了間際には鬼頭(#33)がスラップショットを決めるなど14得点で14連勝を飾った。

12/6(水)vs アンハルラ3回戦(安養)

5-4(2-2,2-0,1-2) G7 A26.3 G21 A10.26 G19 A21
 G11 A17.22 G24 A26.18

韓国遠征初戦、相手は昨年の遠征で苦渋をなめさせられ、釧路でもオvertimeまで粘られたアンハルラ。立ち上がりには2点取られ今年もか・・・と悪夢がよぎったが、1ピリにディック(#7)と酒井(#21)が取り返し同点に追いつくと、2ピリには博史(#19)と西脇(#11)が、3ピリにはゴマ(#24)が決めて5-2と突き放した。しかし、粘るハルラは2点差から6人攻撃を仕掛け、1点差に詰め寄るもクレインズが守り抜き、15連勝を飾った。

12/7(木)vs アンハルラ4回戦(安養)

4-3(1-1,2-2,1-0) G26 A20.7 G18 A20.24 G24 A26.18
 G32 A3.26

韓国遠征2戦目、今日も立ち上がりには1点取られる展開。しかし、13分に訪れたPPのチャンスにテレク(#26)がゴールを決め同点に追いつく。2ピリには1stラインのま～しゃ(#18)とゴマ(#24)が決めて突き放すも、食らいつくハルラ。しかし試合終了3分前に竹内(#32)が決勝点を決め、最後は6対4のPKをしのぎ16連勝を飾った。

12/9(土)vs カウオンランド3回戦(春川)

8-4(3-1,1-1,4-2) G26 A20.3 G17 A11.32 G17 A2.11
 G20 A2.23 G20 A26.18 G19 A21.72 G19 A21.72
 26 A18-20



2ゴールのNo.19 佐藤博史

韓国遠征3戦目、相手は変わって今期海外チームで唯一黒星を喫しているカウオン。昨年とは違い、大型外人を補強しチームもまとまりを見せている。立ち上がりすぐに1点を取られ手しまったクレインズだがそこから崩壊することなく自分たちの形を作ると、11分にはテレク(#26)が決

め、その後よっち(#17)が2点決め一気に流れを引き寄せる。終わってみれば、よっち、博史(#19)、ターシ(#20)、テレクが2得点ずつ決め、8対4で韓国遠征3連勝となった。

12/9(土)vs カウオンランド4回戦(春川)

5-2(1-1,4-1,0-0) G18 A20.26 G3 A7.20 G3 A17.2
 G20 A7.18 G26 A2.32

韓国遠征最終戦、ここは勝って4連勝で帰りたいところ。試合開始2分で、ま～しゃ(#18)がPPゴールを決め序盤からクレインズがペースを握る。1ピリ中盤に迎えた3-5のKPを1失点で食い止め、2ピリはキャプテン賢吾(#3)が2発、ターシ(#20)、テレク(#26)が1発ずつ決め、5-2で勝利した。韓国が両チームはレベルアップが図られているものの、クレインズは付け入る隙を与えず、4連勝で帰国となった。



攻守に活躍のキャプテン賢吾

12/20(水)vs 王子4回戦(旭川大雪アリーナ)

2-6(1-1,1-1,0-4) G26 A17.7 G3 A10.21

年に一度の旭川開催、日本製紙旭川工場があるのになぜかアウェイなクレインズ。いや、道内はクレインズのホームだ。と大応援団を結成。応援では王子側を圧倒し、ホームジャックには成功した。肝心の試合では、製紙会社タービとあって白熱した試合。1ピリは王子が先制するも、テレク(#26)が荻野の肩口を抜き追いつく。2ピリはKPに耐えた後の一瞬の間隙から賢吾(#3)が持ち込みスラップショットで逆転。すると王子がまたもやパワープレーをきめるなど、シリーズゲームの展開に。しかし、16分過ぎに悪夢が・・・ま～しゃ(#18)が放ったショットは荻野の肩を抜き、ゴールネットまでも突き破った。赤ランプが点灯・・・したのにレフェリーはノーゴールの判定。この判定に怒り心頭のクレインズ、安堵の王子。この精神状態が3ピリに影響、2-6で王子に敗北を喫した。今期は王子に3連勝中と勢いのあったクレインズ、ここでの敗戦を糧にして苦小牧ではリベンジだ！

12/23(土)vs SEIBU 4回戦(札幌月寒アリーナ)

4-1(0-0,2-1,2-0) G3 A26.17 G26 A18.20 G20 A18.24
 G17 A26.11



氷上に浮かぶALのロゴ

札幌のクリスマスゲームズ第1戦は宿敵 SEIBU。相手にとって不足なし!!月寒に駆けつけた2000人超のファンの前で無様な試合は見せられない。1ピリ、両者相譲らずだが終了間際によっち(#17)と内山がラッシングのダブルマイナーを取られ、荒れ模様を予感させる展開となる。2ピリ、賢吾(#3)の放ったショットがパーピックの足に当たり、角度が変わってゴール。しかしここでまずパーピックが暴れだしてテレク(#26)に馬乗り。

パーピックがペナ箱に入っている間にテレクが落ちていてPPをものにして2-0、SEIBUも反撃に出、2ピリを2-1で終わる。そして3ピリ10分過ぎに今度は潤(#2)を相手にパーピック



大暴れのパーピック

が暴れだした。そして、クレインズはダーシ(#20)のゴール、よっちのENでゲームを決定付けると、三度バビックは暴れだした。ダーシに喧嘩を吹っかけ、バビックは数試合の出場停止処分。アイスホッケーには乱闘が付き物であり、ゲームがエキサイトしてしまうのは仕方ない。しかし、観客をしらけさせる、不快にさせる後味の悪い試合にはしないでもらいたいものだ。

12/24(日)vs バックス 4 回戦(札幌月寒アリーナ)

8-1(2-0,4-0,2-1) G11 A17.32 G17 A3.32 G11 A15.27
G23 A11.18 G11 A10.17 G26 A18.3 G18 A26.7

G22 A10.19

昨日のあおりを受けてダーシ(#20)が欠場。替わりによっち(#17)が古巣相手にセンターで出場。バックスのベンチにはセルジオ越後が・・・この日は西脇(#11)デ-となった札幌月寒リンク。1ピリ11分にPPゴールを決めると応援席には「ウジ-ニョのポーズ」で声援に答える。2ピリにはシュウハイ(#15)のパスに反応しゴールに叩き込むとその2分後に



もう1点追加し、ハットトリックを達成した。他にも大澤(#23)がきれいな形でゴールを決める等攻めの形はクレインズらしいものであった。しかし、若干気になったのは、バックスにいいように走られていたこと、終了5秒前に失点してしまったことだ。プレーオフを勝ち抜くには結果だけでなく、試合内容にもこだわりたい。クレインズならきっと修正してくれるだろう。

クレインズ戦士コラム第4弾 No.23 大澤 秀之



愛称:ヒデ **1979年1月5日**生まれ **山羊座 A型**
苦小牧錦岡小 苦小牧凌雪中 苦小牧工業 東洋大
今回は入団6年目を迎えた大澤秀之選手。大学4年の時には3大会 MVP に選ばれ、2001年東洋大から伊藤雅俊選手と共にクレインズ入りした。ポジションはDF、FWとは違い華やかさはないが、相手に得点をさせない為の仕事をしている。ヒデの売りはもちろん鍛えられた身体を武器にしたフィジカルなプレーとボディチェック。相手FWに仕事をさせないまさにディフェンシブなDFだ。また相手をゴール前に入れないようバックスケーティングで外へ追い出す動きも派手さはないがクールで魅力的だ。更には、11/25の長春富春戦でハットトリックを決めるなど今期(12/25 現在)8得点をあげており、実は攻めても良しなのである。皆さんしっかり見て下さいネ。クリスマスゲームのときにヒデに直撃インタビューしたところ「1対1での相手を自由にさせない動き、ゴール前で的確な判断を見て下さい!!!アイスホッケーは面白く激しいスポーツなので是非みんなで見に来て下さい」とのこと。今年はジュニアの誕生、そして今期も日本代表に選ばれるなど公私共に充実しているヒデ、今後、3冠奪取の原動力として益々活躍してくれるでしょう。期待しています。

短冊に願いをこめて

今季こそ・・・願いは届け。アジアリーグ初代王者に君臨したクレインズ。悲願の初のタイトルを奪取したものの他チームから軽視されていた。この優勝は重みが無い。2004-2005シーズンから日本リーグが廃止されアジアリーグに完全移行、ここで優勝してこそ真の王者だったけど・・・しかし一昨年は初のセミアイナル突破、昨季はファイナルに初の王手をかけるところまで勝ち進んだ。だからこそ今季、優勝への願いは強い。その熱い願いをチームへ伝えよう。今季も「短冊横断幕」ベンチ裏へ掲げます。選手達はみんなの熱いメッセージを読んでいる。みんなの熱いメッセージで勇気付けられている。チーム・サポーター丸となりプレーオフという長く険しい道を優勝というゴールに向いながら進んでいる。自分達の心意気を、選手への激励メッセージを小さな短冊に載せ伝えよう!

[受け取り方法]

試合に来られる方・・・丹頂リンク 2F つるっ子ブース

来られない方・・・郵送します。または自分でカット(色:黒か赤、サイズ:縦 102mm、横 49mm 多少の誤差は問題ありません)

[応募方法]

試合に来られる方・・・つるっ子ブース回収箱(1/7 最終)、苫小牧王子製紙戦(1/20、21)でつるっ子に直接

来られない方・・・十条リンク 2F とスケートハウスに設置する「つるっ子短冊受付箱」。もしくは郵送。最終締切りは1月30日とします。**[注意事項]**紙は縦長に使う。文字は横でも縦でもOK、1人何枚でも良いが同じメッセージは書かないで下さい。

結束マフラーで栄光をつかめ!

昨季好評だった「結束マフラー」、希望総数は何と370枚。しかも配布後希望者が殺到したが、発注の関係で限定発売となった。このマフラーは「ホーム・アウェイとわずさまざまな場所でこのマフラーを巻くことによりファン同士の結束を高めたい!」「チームの5つ目のセットとして力を合わせ後押ししたい!」そんな意味から製作した。これから始まるプレーオフ、アジアリーグ優勝に後押しする為、更なる結束が必要だ。そう考え昨季手にすることが出来なかった方や新たにファンになった方の為にも、ニューデザインで製作することにした。



[仕様] ・寸法 150cm x 18cm ・素材アクリルウール

[購入方法] 名前、送り先、希望本数をメールにて

cranes@horae.dti.ne.jp(寺山)送ってください。

[金額] 原価。1本 2200円ですが合計本数が多くなれば最低2000円まで下がります。

[完成予定] 2月中旬

[受け取り方法] 3/3(土)、4(日)セミアイナル時、直接受け取り(送料無し) 郵送

[支払い方法] 金額が決定し次第、お知らせいたします。

(HP&メルマガ)詳しい状況はHPとメルマガをチェックしてください。

プレーオフはメルマガを要チェック!

現在購読者300人を超えた「居酒屋つるっ子」ことつるっ子から配信される携帯メールマガジン。すでに知っていると思うが試合結果はもちろんのこと、イベント情報もいち早く知ることができる。これから始まるプレーオフの応援やマフラーの近況報告をメルマガを使い伝えていきます。みんな!メルマガ要チェックや!

メルマガ(携帯登録用) <http://mini.mag2.com/>

上部 URL から「ミニまぐ」にアクセス。検索で「つるっ子」と入力

つるっ子通信 2006-2007 Vol.7(発行 06.12.27)
作成(つるっ子&つるっ子 ML組)
連絡先 〒084-0905 釧路市鳥取南2丁目1番47号
日本製紙 釧路工場 工務部保全課 寺山博道
TEL 0154-52-7619 Eメール cranes@horae.dti.ne.jp
HP「クレインズだよ全員集合」 <http://www.horae.dti.ne.jp/~cranes/>